

## 一般演題

発表資料は 9 月 26 日(土) 10:00 からオンライン会場にてご覧いただけます。

### 1. 患者・家族とのコミュニケーション

口演ディスカッションタイム：9 月 26 日（土）16：00～16：40

座長 宮原 哲（西南学院大学文学部外国語学科）

菊川 誠（九州大学医学部医学教育学講座）

演題番号	演者	所属	演題名
1-01K	山口 亜希子	神戸大学大学院保健学研究科 博士後期課程	ICU 人工呼吸器装着患者のコミュニケーション 行動の特徴
1-02K	伊藤 英里	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	家族介護者の悩み抽出のための用語単位および エピソード単位の分類手法の検討
1-03K	有賀 雅奈	株式会社レーマン	患者と医療関係者双方にとって効果的なビジュ アル・デザインのインフォームド・コンセント説 明資料
1-04P	齋藤 弓子	国立研究開発法人国立がん研 究センター がん対策情報セ ンターがん情報提供部	男性がん患者から求められる性に関する情報と 支援についての検討：医療者を通じて収集した患 者の語りから
1-05P	長澤 知魅	株式会社コスモ・ピーアール	治療選択時および薬剤処方時の患者の検索行動 —製薬企業の評判が選択に寄与する可能性—

K:口演 P:ポスター

## 2. 医療者間のコミュニケーション

口演ディスカッションタイム：9月26日（土）16：00～16：40

座長 杉本 なおみ（慶應義塾大学看護医療学部）  
 阿部 恵子（愛知医科大学看護学部）

演題番号	演者	所属	演題名
2-01K	土屋 慶子	横浜市立大学都市社会文化研究科	依頼行為のための相互行為空間創出：救急医療シミュレーションでのチームリーダーの視線と立ち位置を含むマルチモーダル分析
2-02K	中野 慶子	畿央大学健康科学部看護医療学科	社会的孤立女性に対する効果的ソーシャルワークチームのコンピテンシーに関する質的分析
2-03K	中谷 友哉	奈良県立医科大学公衆衛生学講座	退院時に起こる課題事例とその発生要因について、医介連携におけるコミュニケーションに着目した研究
2-04P	堂本 司	京都看護大学看護学部看護学科	病院看護師から介護支援専門員への電話でのフォローが患者の療養生活にもたらす効果
2-05P	相原 洋子	神戸学院大学総合リハビリテーション学部	地域包括支援センター職員のヘルスリテラシーの理解と支援役割の認識

K:口演 P:ポスター

### 3. 健康教育・ヘルスプロモーション

口演ディスカッションタイム：9月26日（土）16：00～16：40

座長 竹中 晃二（早稲田大学人間科学学術院 人間科学部）  
 杉森 裕樹（大東文化大学スポーツ・健康科学部）

演題番号	演者	所属	演題名
3-01K	榊原 圭子	東洋大学社会学部	参加的組織風土尺度の信頼性・妥当性の検討
3-02K	小澤 千枝	帝京大学大学院公衆衛生学研究科	「健康無関心層」とは何か：尺度開発と妥当性の検証
3-03P	溝田 友里	国立がん研究センター がん対策情報センター 健康増進科学研究室	ソーシャルマーケティングやナッジを利用したがん検診受診率向上資材のリアルワールドでの実施における有用性評価—前回結果のアップデートと普及効果の多面的検討—
3-04P	和田 高士	東京慈恵会医科大学 大学院健康科学	医療コミュニケーション観点からの健診結果票への理解を促すための工夫
3-05P	後藤 英子	東京大学医学部附属病院 大学病院医療情報ネットワークセンター	日本人従業員における心の健康と職業性ストレス、ヘルスリテラシーとの関連（縦断研究）
3-06P	清水 泰生	同志社大学日本語・日本文化教育センター	スポーツ言語学とヘルスコミュニケーション学

K:口演 P:ポスター

## 4. 健康医療情報のコミュニケーション

口演ディスカッションタイム：9月26日（土）16：00～16：40

座長 高山 智子（国立がん研究センターがん対策情報センター）  
石崎 雅人（東京大学大学院情報学環）

演題番号	演者	所属	演題名
4-01K	須賀 万智	東京慈恵会医科大学環境保健医学講座	一般向け広報資材における視覚素材の使い方
4-02K	原木 万紀子	埼玉県立大学健康開発学科健康行動科学専攻	患者・市民向けがん情報提供における効果的なメディカルイラストレーションの作成・活用に向けた Web アンケート調査
4-03K	佐藤 佳代	帝京大学大学院公衆衛生学研究科博士後期課程	地方自治体ウェブサイトに掲載されている HPV ワクチンに関する情報資材の適切性調査
4-04P	横田 理恵	東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学	不妊リスクのライフスタイル因子に関するインターネット上の情報の内容分析
4-05P	北澤 京子	京都薬科大学	健康情報の読み解き方に関する eラーニング教材を用いた一般市民の学習効果：ランダム化比較試験
4-06P	米山 祐子	慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科	医学系研究成果の社会への発信とメディア報道

K:口演 P:ポスター

## 5. 共生社会のコミュニケーション

口演ディスカッションタイム：9月26日（土）16：40～17：10

座長 池田 光穂（大阪大学 CO デザインセンター）  
 岩隈 美穂（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医学コミュニケーション学分野）

演題番号	演者	所属	演題名
5-01K	八巻 知香子	国立がん研究センター がん対策情報センター	「がん情報サービス-新型コロナウイルス Q&A」 アクセシブル版作成の試み
5-02K	皆川 愛	ギャロデット大学 ろう者学部	言語的マイノリティとしてのろう者を対象にした 手話版大腸がん資料の作成
5-03K	林 依里子	一般財団法人グローバル ヘルスケア財団 研究部	医療英語能力開発の現状と展望 ー特に国際医療 英語認定試験（CBMS）の実施分析ー
5-04K	日吉 和子	園田学園女子大学人間健 康学部人間看護学科	KYOTO SCOPE の活動報告～社会的孤立女性を支 援するソーシャルワークへの支援
5-05P	五十嵐 紀子	新潟医療福祉大学社会福 祉学部社会福祉学科	当事者活動から見る支援の在り方：核となる対話の 力

K:口演 P:ポスター

## 6. 新型コロナウイルス感染症に関するコミュニケーション（研究）

口演ディスカッションタイム：9月27日（日）9：00～9：50

座長 中山 健夫（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野）  
 奥原 剛（東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野）

演題番号	演者	所属	演題名
6-01K	市川 衛	一般社団法人メディカルジャーナリズム勉強会	新型コロナウイルス：パンデミック下のコンテンツ生成と拡散～一般市民の行動に与えた影響は？
6-02P	浅井 文和	東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野	新型コロナウイルス感染症に関する新聞記事の6か月間の変遷 PCR検査とマスクに注目した計量テキスト分析
6-03P	桑原 恵介	帝京大学大学院公衆衛生学研究科	新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言解除後の東京都 62 市区村長によるメッセージ-地域活動の再開に焦点を当てた内容分析-
6-04P	調 律子	東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野	新型コロナウイルスのパンデミック下の妊婦の不安とストレス-Q&A サイトの書き込みの内容分析ー
6-05P	島崎 琴子	京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医学コミュニケーション学分野	Twitter を用いた COVID-19 に関する文献レビュー
6-06P	河村 洋子	産業医科大街産業保健学部安全衛生マネジメント学講座	Tweet 分析から見える COVID-19 パンデミック下の在宅勤務への適応の様子
6-07P	荒神 裕之	山梨大学医学部附属病院医療の質・安全管理部	新型コロナウイルス感染症で用いられたカタカナ語に関する一考察
6-08P	岡田 宏子	東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野	日本における COVID-19 パンデミック下にある市民の感染予防行動とヘルスリテラシーとの関連

K:口演 P:ポスター

## 7. 新型コロナウイルス感染症に関するコミュニケーション（実践報告）

口演ディスカッションタイム：9月27日（日）9：00～9：50

座長 安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）  
河村 洋子（産業医科大学 産業保健学部）

演題番号	演者	所属	演題名
7-01K	竹中 晃二	早稲田大学人間科学学術院	COVID-19 発生に伴うメンタルヘルス・プロモーション活動の普及啓発
7-02K	渡邊 清高	帝京大学医学部内科学腫瘍内科	新型コロナウイルス感染症流行に関するウェビナー(ウェブセミナー)の効果：リスクコミュニケーションの実践的アプローチ
7-03K	飯村 隆志	特定非営利活動法人健康サポーターJAPAN	COVID-19 感染予防下でオンラインライブ配信ツールを活用した双方向コミュニケーションの試み ～患者を含む多職種連携の実現に向けて～
7-04K	垣内 善	帝京大学公衆衛生学研究科	クライシスコミュニケーションを用いた COVID-19 感染拡大防止対策：帝京大学板橋キャンパスの事例
7-05K	小柴 裕子	京都精華大学学修支援センター日本語学修支援室	新型コロナウイルスに対する留学生支援の一考察～新入留学生との zoom 交流会から見えてきたこと～
7-06P	森田 直美	東京大学大学院医学系研究科	新型コロナウイルス感染症に関する情報を日本在住外国人に円滑に提供するための一つの取り組み（実践報告）
7-07P	倉繁 祐太	倉繁皮ふ科医院皮膚科	実践報告：皮膚科医院における新型コロナウイルス感染症に関する受診患者に向けた情報発信
7-08P	笠原 正幸	富士薬局大泉店	COVID-19 における薬局向けの動画による情報提供と実績
7-09P	篠原 愛	日本アルコン株式会社	ポスト・コロナ時代を見据えたデジタルコミュニケーション～眼科医療従事者向け AEA.com の事例より（実践報告）
7-10P	佐藤 正恵	千葉県済生会習志野病院図書室	医療情報不足による COVID19 健康被害と図書館の役割：IFLA(国際図書館連盟)の活動(事例報告)
7-11P	朝見 光宏	秋葉原歯科	Community Health Care のための歯科ヘルスコミュニケーションのあり方～『田園都市医学』における提言試論～

K:口演 P:ポスター